

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成22年5月20日(2010.5.20)

【公表番号】特表2009-531631(P2009-531631A)

【公表日】平成21年9月3日(2009.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-035

【出願番号】特願2009-502243(P2009-502243)

【国際特許分類】

F 1 6 F	9/20	(2006.01)
F 1 6 F	9/32	(2006.01)
F 1 6 F	9/36	(2006.01)
F 1 6 F	9/34	(2006.01)
F 1 6 F	9/38	(2006.01)
E 0 5 F	3/10	(2006.01)
E 0 5 F	5/02	(2006.01)

【F I】

F 1 6 F	9/20	
F 1 6 F	9/32	K
F 1 6 F	9/36	
F 1 6 F	9/32	C
F 1 6 F	9/34	
F 1 6 F	9/38	
E 0 5 F	3/10	Z
E 0 5 F	5/02	E

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月29日(2010.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使用時に可動部材の当接面に固定可能であり、使用時に粘性流体が充填される密閉室を内部に形成する本体と、

少なくとも一部が前記本体から突出し、使用時に前記可動部材と協働するように構成される押し棒であって、該押し棒の突出位置と格納位置との間で弹性手段の付勢に抗して前記本体に摺動可能に収容される心棒と一体化される押し棒と、

前記密閉室を相互の油圧伝達が保持された2つの部分に分割するように前記密閉室に収容され、前記心棒に機械的に接続されるピストンであって、前記心棒は、前記押し棒に一体的に接続される第1の端部と、第1の端部に対向する第2の端部とを備えるピストンと、を具備する、家具の引き出しまたはドアなどの可動部材を閉じる方向へのストロークの終端部の動きを阻止するように構成された減速装置(1)であって、

前記心棒の前記第1の端部および前記第2の端部は、前記本体に収容され、前記密閉室の外側に摺動可能であり、前記密閉室自体に対しては液密であることを特徴とする減速装置(1)。

【請求項2】

請求項1に記載の減速装置(1)を備える家具であって、

該減速装置（1）は、家具の少なくとも1つの引き出しありまたはドアなどの可動部材の当接面に取り付けられ、前記可動部材を閉じる方向へのストロークの終端部を前記押し棒によって阻止して、前記弾性手段の付勢に抗して、前記押し棒の前記格納位置に向かって前記心棒を摺動させる家具。